

全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

国語

1 問題の結果

(1) 領域毎の結果

領域毎の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均と同程度であった。「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を下回った。

(2) 全国平均正答率を上回った設問例

- ・知りたいことを調べるために、選んだ本の目次の一部から読むページとして適切なものを選ぶ。

【読むこと：5・6年】

(3) 全国平均正答率を下回った設問例

- ・漢字を書く。(たいしょう, かぎらず, かんしん) 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項：5・6年】
- ・インタビューの様子から、職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く。

【話すこと・聞くこと：5・6年】

2 今後の指導について

(1) 漢字を習得する。

学習した漢字を字形に注意しながら繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考
えながら、文や文章の中で正しく使うことができるようにしていく。

国語の授業では、「漢字のひろば」など漢字を取り扱う単元を大切にし、習った漢字を適切に使用し
て文章を書くことの指導を繰り返し行う。

また、漢字ドリルから定期的にテスト形式で問題を出題して定着を確認したり、熟語や慣用句などの語彙習得と合わせて指導したりして、ドリル学習の効果が発揮されるように留意して指導していく。

(2) 話の要旨を聞き取ったり、その中心となる言葉を生かした文章を構成したりできるようにする。

仲間との交流や教師の話について、その要旨を聞き取り、自身の発言に取り入れるようにすることが考えられる。現在の「～さんと似ていて」「～さんにつけたしで」という発言から、「～さんの〇〇と
いう意見につけたしで」というような話しぶりにシフトするように声をかけていきたい。また、キー
ワードを選択したり必ず使用する語彙を限定したりして、適切にその言葉を位置付けながら文章を構成
する活動が考えられる。中心となる内容を明確にして書き、それが読み手に伝わるかどうかを授業の中
で仲間と交流し、時には推敲しあうなどして、文章構成力を高めていきたい。

算数

1 問題の結果

(1) 領域毎の結果

領域毎の平均正答率では、「数と計算」「数量関係」は全国平均と同程度であった。「量と測定」「図形」は全国平均をやや下回った。

(2) 全国の平均正答率を上回った設問例

- ・ $6+0.5\times 2$ を計算する。【数と計算：4年】【数量関係：4年】
- ・ 何秒後にゴンドラに乗ることができるかを求める式を書く。【数と計算：3年】

(3) 全国の平均正答率を下回った設問例

- ・ 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く。
【量と測定：5年】【数量関係：3年】
- ・ 被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600\div 15$ を計算しやすい式にして計算する。
【数と計算：4年】

2 今後の指導について

(1) 問題の条件設定から数量関係を把握して、言葉を式に表すことができるようにする。

単位量当たりの大きさを求める際に、1あたりとする量は何かを確認することが考えられる。問題の文章を正確に読解できること、特に資料やグラフから読み取れるように工夫をしていく。また、授業の中で判断の理由を明確にすることを日頃の授業でも大切にしていく。

(2) 除法の問題において立式から計算までを確実にできるようにする。

計算の意味を理解するために、数直線図などを用いて立式の根拠を説明する活動が考えられる。また、除法の「被除数」と「除数」の意味を確認する、「被除数」「除数」に同じ数をかけたり割ったりして計算しやすい式にして計算する、などの除法で表現できる式や数量関係の理解を進めることも大切にしていく。